

オリンピック教育の展開事例



- ・シンボル、モットー、クーベルタン・クリードを利用して

舛本 直文
(東京都立大学大学院
理学研究科身体運動科学専攻)

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

1

「オリンピック教育」とは



- ・ IOCが主導。オリンピズムという理念に基づいたオリンピックムーブメントの一環として開催都市だけでなく広汎に行われている。
- ・ 1961年に設立された国際オリンピックアカデミー(IOA)を中心として、国際相互理解、国際親善、世界平和などの実現のために推進されてきた。
- ・ 各国とも全教科、生涯学習まで含めて実施されているが、学校体育が中心的役割を担う。

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

2

「オリンピック教育」の担当

- ・ 1961年: IOA(国際オリンピックアカデミー)
- ・ 1995年: IOAとオリンピック教育のためのIOC委員会
- ・ 2000年: 文化とオリンピック教育のためのIOC委員会
- ・ 日本: オリンピック教育自体が展開なし→2003年度高校「保健体育」
- ・ JOAとJOCの存在、NAOCによる一校一国運動



2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

3

IOC版「オリンピック教育」

- ・ 数学、理科、作文、読書、芸術、体育の中でオリンピックテーマを用いて実施し、「オリンピック教育は世界的に多様な文化の中で文化アイデンティティを高め、あらゆるところでみんなのウェルネスを向上させる」(IOCオリンピック教育ブックレット,1995)。
- ・ 目的: 以下の知識と理解を授け価値観や態度の育成
- ・ 知識と理解: 歴史と伝統、シンボルと儀式、オリンピックスポーツ、有名選手、関連した諸問題、自国史と自国のヒーロー/ヒロイン選手、他の開催国。
- ・ 価値観や態度: 熱中、国際的の友好、運動とスポーツの価値、自尊心、文化アイデンティティ、卓越性、道徳的判断とフェアプレー

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

4

高等学校学習指導要領解説(保健体育)

- ・ 改善の具体的事項(p.7)
- ・ (ウ)「体育理論」の領域については、
- ・ ……略…
- ・ 現代社会におけるスポーツの意義や課題に関する内容に重点化する。



2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

5

高等学校学習指導要領解説(保健体育)

社会の変化とスポーツ(p.63)

(1) 社会の変化とスポーツ

変化する現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解できるようにするとともに、運動にはそれぞれ歴史・文化的に形成された意義、独自の技術・戦術及び規則があることを理解できるようにする。また、個及び集団の状況に応じたスポーツとのかかわり方や豊かなスツライフの設計と実践について理解できるようにする。



2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

6

オリンピック関連諸問題

- 加えて今日の社会とスポーツとの関係や諸問題について、例えば、スポーツを通して様々な国の人々と相互に理解しあうことや国際親善の一層の推進を図る観点からオリンピック運動を、公正に競技を行うことや健康などの観点からドーピング問題なども取り上げるようにする。(p.64)



2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

7

高等学校学習指導要領解説 (体育)

- 改訂の要点 (p.107)
- 「体育理論」の目標については、広く「体育・スポーツ」に関する知識を理解し、…
- …(略)…
- 内容については、変化する社会にあつて、体育・スポーツの必要性や意義…
- 「社会の変化と体育・スポーツ」…に整理統合した。

Be a Champion in Life!!



2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

8

高等学校学習指導要領解説 (体育)

- (1) 社会の変化と体育・スポーツ (p.114)
- 近年における社会生活の変化の中で、…略…、現代社会における体育・スポーツの必要性や…略… 生活をより豊かにするための文化としてのスポーツの意義や課題についても学習できるようにする。
- また…略…、今日の社会とスポーツとの関係や諸問題について、例えば、スポーツを通して様々な国の人々と相互に理解しあうことや国際親善の一層の推進を図る観点からオリンピック運動を、公正に競技を行うことや健康などの観点からドーピング問題なども取り上げてその内容について理解できるようにする。

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

9

オリンピック関連テーマ(保健体育教科書例)

- オリンピック運動
- オリンピック競技会
- 国際オリンピック委員会 (IOC)
- クーベルタン
- 古代オリンピック
- モットー
- オリンピックシンボル
- 国際理解・国際平和
- ドーピング
- 公正(フェアプレイ)
- スポーツ精神



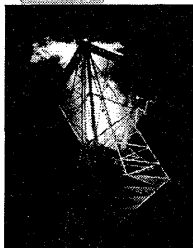
2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

10

オリンピック関連テーマ(体育教科書追加例)

- オリンピック精神(オリンピズム)
- オリンピック憲章
- オリンピック・アカデミー
- オリンピック教育
- オリンピックソリダリティ
- テレビ放映権(メディア)
- 五輪マークの商標化(ビジネス)
- WADA/JADA
- 環境問題



2003年10月26日

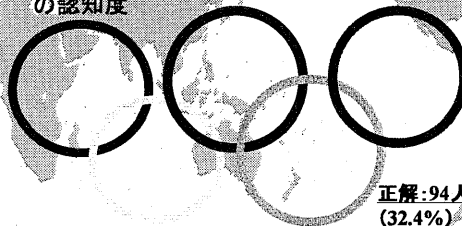
スポーツ教育学会第23回大会

11

大学での実践: 参考データ

(2000=2003年都立大調査:290名)

- オリンピックシンボルの認知度



正解:94人(290人中)
(32.4%) 色は別

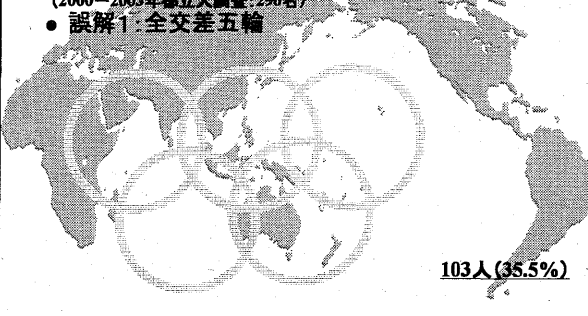
2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

12

大学での実践：参考データ
 (2000—2003年都立大調査：290名)

- 誤解1：全交差五輪

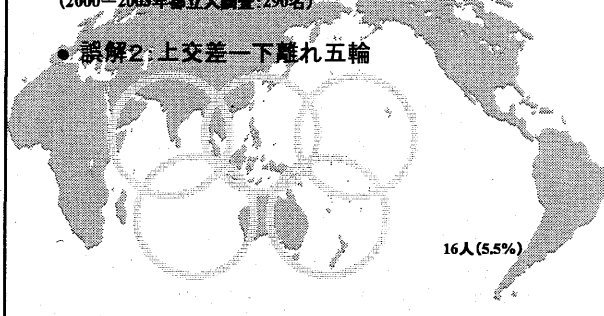


103人(35.5%)

2003年10月26日 スポーツ教育学会第23回大会 13

大学での実践：参考データ
 (2000—2003年都立大調査：290名)

- 誤解2：上交差一下離れ五輪

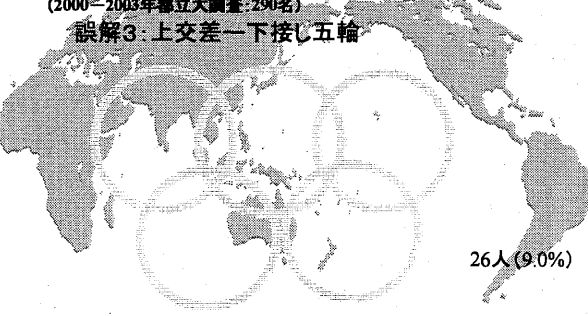


16人(5.5%)

2003年10月26日 スポーツ教育学会第23回大会 14

大学での実践：参考データ
 (2000—2003年都立大調査：290名)

- 誤解3：上交差一下接し五輪

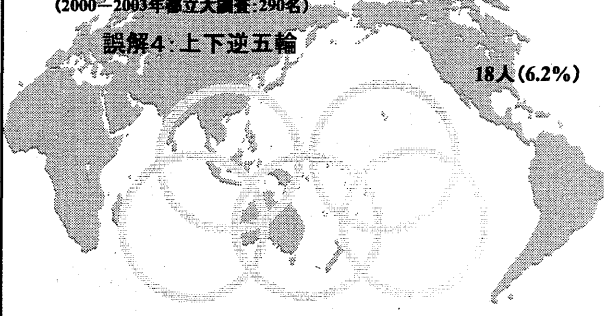


26人(9.0%)

2003年10月26日 スポーツ教育学会第23回大会 15

大学での実践：参考データ
 (2000—2003年都立大調査：290名)

- 誤解4：上下逆五輪




18人(6.2%)

2003年10月26日 スポーツ教育学会第23回大会 16

大学での実践：参考データ

- 五輪各部の色：青・黄・黒・緑・赤
正解者：11人(3.8%)
- シンボル各部分の意味：五大陸
正解者：104人(35.9%)
- シンボルの5色の意味：各国の国旗色
正解者：5人(1.7%)
Cf：肌の色(9人3.1%) 人種(23人7.9%)
- シンボルの管理：IOC
正解者：165人(56.9%) (2000—2003年都立大調査：290名)



2003年10月26日 スポーツ教育学会第23回大会 17

大学での実践：参考データ

- 五輪モットー：より速く・より高く・より強く
(Citius, Altius, Fortius)
21人(7.2%)
- ケーベルタン格言：「オリンピックで重要なことは勝つよりも参加すること」
21人(14.9%) (2002年度から147人中)
- オリンピズム：スポーツを通じた青少年の調和の取れた教育と世界平和への貢献
0人 (2000—2003年都立大調査：290名)

2003年10月26日 スポーツ教育学会第23回大会 18

調査結果の解釈

- 高校までの「オリンピック教育の不在」の証左
- 基本的事項への無知:クーベルタン、シンボル、オリンピズム、モットーなど
- 「オリンピック好きの日本人」はテレビでの応援とメダル関心?
- オリンピック公式サイトアクセス数は世界で2番目(1番は米国)
- スポーツ・メディアによるオリンピック観の形成?
- 空虚な「感動」と絶叫応援や無意味な修飾語の垂れ流し
- オリンピック教育の必要性を再確認

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

19

参考:「オリンピック教育」のための映像

- IOC公式記録映画
- オリンピックドキュメンタリー映像
- オリンピック関連ドラマ映画
- TV特集(NHK、BBCなど)
- OTAB利用(有料)
- IOC オリンピック博物館内オリンピック研究センター(OSC)
- IOC HPのイメージVTR(1999スキャンダル回復)
- OCOGのオリンピック教育用映像

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

20

テーマ別推奨オリンピック映像例

- クーベルタンの格言:『クールランニング』
- ドーピング問題:『フィニッシュライン』
- オリンピズム:『東京オリンピック』
- 人種差別等・モットー:『炎のランナー』
- オリンピックと政治:『民族の祭典』
- オリンピック史と諸問題:NHKアポロンの歌

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

21

映像活用上の注意

- 「メディアが構成する現実」の自覚
- メディア・リテラシー教育の必要性
- 垂れ流される「感動」よさらば
- 視聴者audienceから批判者criticsへ
- 受容的態度から自ら制作者の視点に
- 自分の関心を「見つけ」・「調べ」・「深める」材料
- より良いオリンピックやスポーツ文化のあり方にむけ「自分の考え」をもつきっかけ

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

22

メディアリテラシー

- 市民がメディアを社会的文脈でクリティカルに分析し、評価し、メディアにアクセスし、多様な形態でコミュニケーションを創り出す力
- キーコンセプト
- メディアはすべて構成されたものである
- メディアは現実を構成する
- オーディエンスから
- クリティックスへ
- コーエディターへ

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

23

最後に

- 百聞は一見にしかず
- 観よ、しかしだまされるな!
- そして、
- しっかり楽しもう!

多謝

2003年10月26日

スポーツ教育学会第23回大会

24